

JAIST産学官共創フォーラム 令和6年度 第4回定期講演会



令和6年能登半島地震など自然災害での デジタル技術活用の実践



北陸先端科学技術大学院大学
先端科学技術研究科
准教授 郷右近 英臣 氏



講演1
災害時の広域被害把握と
意思決定支援に向けた試み

株式会社地域みらい
企画営業部
主任 尾崎 利充 氏



講演2
三次元技術でミライを
明るく照らす

ご案内

日時: 2025年 **3月18日(火) 16:00** ~ 18:00 ※18:00より交流会

場所: [北陸先端科学技術大学院大学 金沢駅前オフィス](#) (ポルテ金沢 9階)

およびオンライン(ZOOM)

※交流会は、Microsoft Base Kanazawa (ポルテ金沢 地下1階)にて行います。
オードブルとお飲み物(アルコール含む)を準備しております。

定員: 会場(30名)、オンライン(50名)

参加費: オンライン参加 無料

会場参加

・JAIST産学官共創フォーラム会員: 無料 ※1

・一般の会場参加: 2,000円(交流会参加費含む)

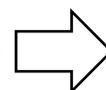
※1 法人会員の方は無料、それ以外の会員の方は1,000円

※ 会場参加、オンライン参加ともに事前申し込みが必要です。

※ 当日会場にて現金でお支払いください。

<https://www.jaistso.or.jp/jiagccf/regular-lecture2404/>

お申し込みはこちら



1. 開催概要

デジタル技術が防災の現場でどのように活用され、災害時の対応をいかに効率化できるかについて講演します。

令和6年能登半島地震などの自然災害におけるデジタル技術の役割を探り、地震発生時の迅速な情報収集、被災地支援の効率化などを衛星画像データ、ドローンやビッグデータ(SNS、人流データなど)の収集・活用により、災害時の意思決定につなげていく方法についてご紹介します。

2. 講演テーマ

令和6年能登半島地震など自然災害でのデジタル技術活用の実践

3. 講演

講演 1: 災害時の広域被害把握と意思決定支援に向けた試み

講演者: 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科

准教授 郷右近 英臣 氏

概要:

北陸先端科学技術大学院大学 災害マネジメント研究室では、衛星画像データやSNSデータ、人流データのデータ分析、災害時の様々なステークホルダーの意思決定支援、社会システムに関する研究を行っています。2011年の東日本大震災や令和元年東日本台風、令和6年能登半島地震では、合成開口レーダによるリモートセンシング技術と様々な空間情報処理技術を組み合わせることで、その広域被害把握技術の高度化に取り組んできました。

本講演ではこれらの活動事例の紹介をさせていただくとともに、これらの空間情報を意思決定につなげていく方法について、本研究室で取り組んでいる内容をご紹介します。

講演 2: 三次元技術でミライを明るく照らす

講演者: 株式会社地域みらい 企画営業部

主任 尾崎 利充 氏

概要:

近年の三次元技術はリモートセンシングやAI同様、我々の生活やなりわいを下支えする重要技術となっています。

また最近では、三次元空間+時間軸(時間経過)などを加味した四次元技術なども研究されてきており、三次元技術は目まぐるしく進化を続けています。

当社は20年前より三次元技術を導入してから、他分野技術との融合・応用技術やデータの計測・処理ノウハウを自社で研究し続けており、本講演ではそれらを活用した令和6年能登半島地震や豪雨災害における緊急対応業務や民間企業向けサービス、そして現在、県の補助金事業でJAIST郷右近准教授と連携体として進行中の研究開発の取組みについてご紹介いたします。

主催: 一般社団法人JAIST支援機構

後援:

<https://www.jaistso.or.jp/jiagccf/regular-lecture2404/>

お申し込みはこちら

